

中札内村総合行政推進委員会 第3回委員会 会議録

日 時 令和2年1月30日（木） 18:30～19:40
場 所 中札内村農村環境改善センター 2階大集会室
出席委員 本間克伸、山口公雄、五十嵐真也、佐藤裕二、杉本啓子、瀬川 亮、菅野貴赦、
小山 陣、島田浩幸、宮澤蓉子、神山大知、（11名）
欠席委員 斎藤まり子、桑田尚行、奥井千英子、川田美紀、渡邊芳恵、丹野 優、嶋崎直子
（7名）
オブザーバー （官公庁）十勝総合振興局地域創生部部長 鳥井慎一
（金 融）帯広信用金庫中札内支店支店長 越井雅人
（労 働）連合北海道中札内地区連合会会長 森 久夫
（報 道）十勝毎日新聞社編集局社会部記者 細谷 敦生
村 長 森田匡彦
事 務 局 総務課長 川尻年和、総務課長補佐 渡辺大輔、総務課主任 金沢 愛

議 事

（開 会） 18:30

（川尻課長） それではお時間になりましたので、会議を開催させていただきます。本日はお忙しい中、またお足元の悪い中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
本会議では、中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略について年に1度の評価・検証を行い、その後第2期策定に向けてご意見をいただきたいと思います。
本日は各分野を代表して有識者の皆様にオブザーバーとしてご出席頂いておりますのでご紹介します。
ーオブザーバーの紹介ー

（川尻課長） それでは本間会長よりご挨拶を頂きます。

（会長） 本日は天気の悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。また、各分野の有識者の皆様にはオブザーバーとしてご参加いただきまして、誠にありがとうございます。
本日の議題は、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定が中心になります。この計画は、来年度から5年間の人口減少対策に向けての施策となりますので、皆様の活発なご意見をよろしくお願いいたします。

（川尻課長） ありがとうございました。続きまして村長の森田よりご挨拶申し上げます。

（森田村長） 本日は夜分遅くお疲れのところ、またお足元の悪い中お集まりいただき誠にあ

りがとうございます。オブザーバーの皆様にも出席いただきまして感謝申し上げます。

本日は令和２年度から始まる計画について協議していただくわけですが、その前に国の進める地方創生の現状についてお話させていただきます。

地方創生は、日本の存亡に関わるほどの危機的な状況を受けて、平成２６年に内閣府が開始した政策で、２つの方針から成り立っています。一つ目は人口減少・少子高齢化に歯止めをかけること、そして二つ目は東京の一極集中を防ぎ、地方を活性化することです。

現状の達成度について申し上げますと、一つ目についてはやや効果がみられており、出生率が予想よりも低下せず、日本の人口が１億人を切るのが、当初の想定よりも５年先送りされて２０５３年になったことが公表されていますが、二つ目の方針である東京一極集中については歯止めが利いておりません。

人口減少は当初の想定よりは緩やかになったものの、昨年初めて出生数が９０万人を切っており、自然減（出生数－死亡数）は５１万人を超えました。これは鳥取県１県が全員いなくなる計算になります。

人口減少と超高齢化は簡単には止められない、ではそれにどう対応するかを考えていかなければなりません。

東京一極集中が変わらないのであれば、関係人口（ファン）をどう増やすかが重要ですし、高齢化に対しては高齢でも生き生きと生活できる村づくりが必要です。

「このままでは自分たちが年老いた時に生活しにくい社会になりかねない」という意識をもって取り組んでいただきたいと思います。

中札内村のファンになっていただけるような村づくりを進めたいと思いますので、ご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

（川尻課長） これより議事に入らせていただきます。以降は村長の森田が進行させていただきます。

（森田村長） 協議事項①第１期中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と②地方創生推進交付金事業の実績について、関連がありますので一括して事務局から説明します。

（渡辺補佐） 現行の第１期計画が資料２になりまして、村のまちづくり計画の中から、人口減少対策や地方創生に関わりの深い事業を再編し、新たな事業を加えて、村の人口減少対策としてまとめたものになります。

平成２７年度に策定し、この間に２回改定を行っております。

それでは、資料１についてご説明します。

総合戦略では４つの基本目標を掲げ、それぞれの目標に対する取組を行うこととしていますが、基本目標ごとに数値目標を設定し、基本目標に関連する取組についても目標値を定めております。

総合戦略の計画期間は、平成27年度から平成31年度（令和元年度）までの5年間となっておりますが、資料1では、中間年の実績値を記載し、平成31年度の目標値に対する進捗状況についてまとめてあります。

表の左側に、それぞれの目標や指標を記載し、次が数値の欄となっております。左から、計画策定時の基準値である平成26年度の数値、次に中間年として平成30年度の実績値とアンケート結果に基づく指標については平成29年度に実施した結果の数値を記載しており、次に最終年である平成31年度の目標値を記載し、進捗状況を○や△等で記載しております。一番右の欄は総合戦略に記載した具体的な取組となっております。

進捗状況の○は、平成30年度時点で目標値に達しているものになります。

△は、基準値よりは伸びていますが、まだ目標値には達していないものになります。

×は、基準値を下回ってしまっているものになります。

－は、基準値から増減のないものになりまして、毎年実績値が算出できないものも含まれております。

基本目標1の出産・子育て支援の主な取組については、この間、治療費が高額である特定不妊治療や男性不妊治療、不育症治療への助成や妊婦健診、超音波検査に助成を行っております。

平成29年度には、きらきら保育園が認定こども園に移行しています。

インフルエンザ予防接種は、村長公約に基づき、現在高校生まで拡大しています。

一方で、民間託児事業支援はNPO法人側の保育士が確保できず未実施となっており、子育てに関する交流事業なども未実施となっています。

今後の展開として、包括的な子育て支援窓口の設置について検討が必要であると考えており、後ほど説明いたしますが、次期計画の中で実施を予定しております。

基本目標2の移住定住推進の主な取組については、計画よりも早く、目標を達成しておりますが、移住促進奨励金は村長公約に基づき対象者を拡大しており、村営住宅は居住環境の向上を図るための改修を計画的に実施してきております。

宅地分譲地は残り6区画となり、販売は順調でありますので、今後の展開として、次期分譲地の検討を行っていきます。

基本目標3の地域産業振興の主な取組については、地場産品を返礼品としたふるさと納税が順調に増加しており、平成29年度実績で寄附額約2,000万円が、平成30年度実績で約5,400万円となり、今年度の現時点での寄附額が6億2,000万円を超えている状況となっております。

また、この間、起業支援として、地場産品の加工製造設備への助成や新たな開業に対する新規店舗整備助成や空き店舗改修助成、賃貸店舗家賃助成など、支援を充実してきております。

今後の展開としては、更なるふるさと納税の増加を目指した魅力ある返礼品の開発やまち中心部の賑わいづくりを行っていきます。

基本目標４の特色ある村づくりの主な取組については、アンケート調査結果で基準値を下回ってしまったものが多くなっております。

この間、観光については、観光協会事務局体制の強化や道の駅の駐車場の拡大、日本で最も美しい村連合加盟による景観を意識した魅力発信などに取り組んでいます。

教育については、村内小中学校にコミュニティスクールを設置して地域に根ざした学校運営や外国語指導助手の配置、国際交流派遣、英語検定料の助成などの国際社会に対応した人材育成に取り組んでいます。

平成２８年１０月からコミュニティバスの運行開始や健康まちづくりとして健康ポイント事業の展開を図ってきています。

今後の展開として、更なる観光客の増加を目指し、インバウンド対策の充実や他市町村との広域連携事業に取り組んでいきます。教育面では、音大・美大と連携したアート事業の展開や英語教育を充実していきます。

続きまして、資料３についてご説明します。

地方創生推進交付金事業の実績となります。

平成２８年度から３０年度までの３年間、地方創生推進交付金の対象として２件のソフト事業を実施しました。

１件目は、「村の魅力ブランド化事業」で、３年間で約２６９万円の交付を受けて、川越市産業フェスタでの物産販売や川越市百貨店での試験的アンテナショップの開設など、村の魅力を発信する事業を展開しました。

今後も引き続き友好都市である川越市と交流・連携を深め、中札内村のファンを増やしていきたいと思えます。

２件目は、「食と健康づくりサポーター支援事業」で、３年間で約４８０万円の交付を受けて、大学や企業と連携した健康ポイント事業や、農協青年部や農協女性部、食育サポーターなどと連携した食育事業などを展開しました。

現在は、この事業の発展的事業を展開しており、引き続き地方創生推進交付金の採択を受けて、健康メニュー開発やウォーキングコース活用による健康ポイント事業の促進、大学等と連携して歩くことによる医療費抑制効果の分析を行っています。

以上で、説明を終わります。

（森田村長） 皆様からご意見、ご質問等あればよろしくお願いします。

（意見等なし）

（森田村長） まだ実施できていない事業については、保育士の人材確保に苦慮しているところ。お金を払ってもサービスが利用できない、そんな時代になりつつあるのかもしれない。

質問等が特になければ次に進めてまいります。③中札内村の２０４０年人口推計と④第２期中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略案について、事務局から

説明します。

(渡辺補佐) 資料4は、本村の2040年の人口推計になります。

①は、中札内村の国勢調査人口の推移であります。

直近の平成27年の調査では、前回(平成22年)調査に比べ40人・約1%の減少となりました。

国勢調査は5年ごとに実施しており、今年(令和2年)が調査年となります。

②はその国勢調査結果を基に、国立社会保障・人口問題研究所が発表している人口推計となります。

表の一番下の行、総人口の欄でご説明しますが、4,006人という数値が2010年(平成22年)の村の人口で、右の3,129人は総合戦略策定当時の人口推計で示された30年後、2040年(令和22年)の村の人口です。

その更に右側の3,236人が平成30年3月に新たに示された人口推計ですが、これは平成27年国勢調査結果に基づき改めて推計されまして、新たな人口推計では107人増となっております。

一番右側の3,311人が、総合戦略の取り組みなどにより中札内村が目指す将来人口ですので、前回推計よりも改善してきていると言えます。

具体的には、生産年齢人口(15歳～64歳)と特に年少人口(0歳～14歳)の減少が大きく改善されており、移住者の増加や若い世代の村内居住が大きく影響していると考えております。

引き続き、本村が目指す3,311人の人口確保に向けて対策を講じてまいります。

続いて、資料5をご覧ください。

こちらが新たに人口減少対策として、まとめた計画案です。

第1期が今年度で終了しますので、来年度から令和6年度までの5年間の第2期計画について、内部協議を経て案を作成しました。

3ページをご覧ください。

国は第1期総合戦略で掲げた基本目標の枠組みを第2期総合戦略においても継続し、新たな視点を加えて地方創生のより一層の充実・強化を図るとしています。

本村においても、国の基本的な方針に基づき、第1期基本目標の枠組みを継続し、中札内村らしさを特徴づける「日本で最も美しい村」をまちづくりの柱とし、施策の継続性・実効性を高めていきます。

それでは4ページから具体的施策を説明させていただきますが、ここに記載している事業は今後5年の間で実施を考えている取組です。事業名に【新規】と記載のあるものは、計画期間中に新たに実施を検討している事業です。【拡充】と記載のあるものは、現在取り組んでいる事業を更に充実するものです。記載のないものは、現行から継続して取り組む事業となります。

事前に配布しておりますので、時間の関係もあり、新規や拡充などの主な施策についてのみ説明させていただきます。

－資料5の具体的施策について説明－

最後になりますが、この総合戦略は、村のまちづくり計画の事業を抽出して作成したのですが、令和4年度から第7期まちづくり計画が始まりますので、その策定の際には整合を図り、見直しを行う予定です。

(森田村長) 皆様からご意見、ご質問等があればよろしくお願いします。

(会長) 道の駅の魅力向上についてです。村の人から、道の駅に大型の遊具があるのはいいが、そばに休憩場所がなく、結局更別の公園に行ってしまうと聞いたことがあります。

(渡辺補佐) 本村の道の駅は広い敷地でゆっくりと過ごせることで人気がありますが、確かに休憩する場所は不足している可能性があります。参考にさせていただきます。

(会長) 音まちプロジェクトについてですが、先日購入したピアノについて詳しくお聞きしたいのですが。

(森田村長) イタリアのフィツィオリ製のもので、音楽家の方々から意見をいただきながら選定し、ふるさと納税を原資に購入したものです。ビエンナーレの後継事業としてスタートした音まちプロジェクトのシンボルになるようにという考えです。5月にはこけら落とし公演を検討しております。

(会長) プラスチックゴミについてですが、マイクロプラスチックが海洋生物に悪影響を与えているということで世界的に大きな問題になっているということを皆様にもご承知おきいただきたいと思います。身近な話で言えば、村から帯広まで行く間だけでもビニール袋のゴミを見つけるような状況です。

(森田村長) 先日開催されたダボス会議でも、環境保全に関する問題が取り上げられていました。環境に配慮した、持続可能なまちづくりが世界的に脚光を浴びる時代です。

ここを徹底的に探究し環境保全に力を入れることは、農業のブランド化にも影響していくと思っています。美しい村づくりへぜひご協力ください。

ふるさと納税についてですが、6万件以上もの方々にふるさと納税していただいたことは非常に大きなことです。この1割の方にファンになっていただくだけでも、一気に6千人のファンを獲得することができます。

ここで、オブザーバーの方々にもぜひご意見を頂きたいと思います。

(鳥井部長) 計画の進捗状況の中で×がついているものについてですが、アンケート結果など、年度末を待たずに早い段階で結果がわかるものであれば、次年度の予算に反映できると思います。

(渡辺補佐) 次年度の早い段階でまちづくり計画のアンケートを実施するので、その結果は総合戦略に反映させていきます。

(越井支店長) 計画をお聞きして、我々の考えている方向性と同じであると感じました。信金としては地域の持続と発展が必要不可欠であり、我々にできることは何かを考えていました。

出会いの場の創出については、「おびしんキューピット」という登録制の結婚相談所があります。また、職員同士のネットワークも確立しておりますので、それを利用した取り組みについてもご協力できると思います。

(森 会長) まずは、住みやすい場所の足場固めとして子どもを産み、育てやすい村づくりに力を入れて、その後、村の魅力あふれる施策を行うことで、住み続けたいと思っていただくという方針であると理解しました。

自分自身、農業関係の職に就いているのもあって、次期の計画では農業の振興について多く記載されていることをうれしく感じています。村の基幹産業である農業の発展は地方創生に不可欠だと思います。

(細谷記者) 地方紙は地域に密着し、一緒にまちづくりを担っていくことが使命であると思っております。今後も面白いことや、珍しいこと、元気な活動などを積極的に発信し、ファン作りに貢献していきます。

(森田村長) ご意見ありがとうございました。

本日の協議事項は以上ですが、最後にその他ということで事務局から何かあればお願いします。

(渡辺補佐) 今年度の総合行政推進委員会は本日が最後となります。また、皆さんの任期も3月末までとなります。1年間ご尽力いただきましてありがとうございました。

今後、継続についてのお声を掛けさせていただくこともあると思いますので、その際はよろしくお願いいたします。

(森田村長) 以上をもちまして、本日の総合行政推進委員会を閉会いたします。みなさん、おつかれさまでした。

(閉 会) 19:40